

## <参加された方々から寄せられた意見・質問の構成>

住民説明会に参加された皆さんから寄せられたご意見を要約させていただきました。

### <地域懇談会のすすめ方について>

●地域代表者による地域懇談会の実施方法、資料配付や説明方法が不十分でうまく機能していないと思います。



●私の地域では、総代から説明がなされ、意見記入シートの配布から回収までがスムーズに行われました。

地域懇談会の場で配布資料の内容説明と各世帯への配布方法を説明させていただきました。

予定した時間を超過して議論をしましたが、参加者全員が共通の理解に至るまでの説明ができていなかったということになります。

今後は、さらに工夫していく必要があると考えています。

地区単位で行うことは、時間とコストがかかるため、一括して行っております。

開催にあたっては、回覧板や公民館などにポスターを掲示してPRしましたが、今後は更に工夫していきます。

今後とも、いろいろな立場の方に参加していただき情報提供と意見交換を行っていきたいと考えています。

### <住民説明会について>

●住民説明会を充実してほしいです。できれば地区単位で実施できないでしょうか。

●せっかくの住民説明会なのに、参加者が少なすぎます。PRが足りないのではないのでしょうか。

●今後、検討内容が具体的になったときに、土地所有者や利害関係者に十分説明していく必要があると思います。

### <提供する情報の内容、資料の表現方法などについて>

●大沢野町内だけの情報です。富山市側、細入村側を含めて、富山高山連絡道路の広域的なつながりがよくわかりません。

●PIという言葉を含めて、カタカナ文字が多くて良く理解できません。

●財源について、十分な説明がされていません。緊急性が高い道路なのでしょう。



●モータリゼーションの時代にあって、地域発展のためには道路整備は不可欠だと思います。

●費用対効果について、どのように考え、どのように提示していくのでしょうか。

●大沢野町としてのまちづくりの考え、姿勢を教えてください。

●環境対策（冬期凍結防止対策など）を考えているのでしょうか。

過去に提供した資料も含め、広域的な情報を載せた資料を公民館に配置します。

極力わかりやすい言葉を用いるよう努めていますが、やむを得ずなじみの少ない言葉を用いるときは注釈をつけるように致します。

道路整備の効果や必要性、費用対効果につきましても、説明資料を公民館に配置します。

冬期対策については、ルート決定後、道路設計をする中で検討していきます。

PI委員会の構成は4ページに紹介しております。公平な立場の組織となるよう、学識者を中心に選定いたしました。

地域代表者による地域懇談会のメンバーは地元の事情をよく知る人ということで、総代さんとさせていただいております。また、次回からは、総代さんとともに新たな懇談会員を加えていきたいと考えています。

### <PI委員会、地域懇談会の体制について>

●PI委員会、地域懇談会のメンバーの顔ぶれをおしえてください。また、どのようにして選ばれたのですか。

●地域懇談会のメンバーは公募で選んでください。意見記入シートをみると、考えを持っている人が沢山いるようです。

●土地改良区の方を、委員会や懇談会のメンバーに含めるべきだと思います。

### <今後のスケジュールについて>

●PIでは、いつまでに概ねのルートを決めるのでしょうか。

●事業の今後の予定はどうなっているのでしょうか。事業着手年度、完成年度はいつ頃なのでしょうか。

環境影響調査を経てルートが最終決定されますが、環境影響調査を行うためのルート案を平成14年度中に決められればと考えています。

工事着手までには、環境影響調査、都市計画決定、地元設計協議、用地買収、埋蔵文化財調査などがあり、ルート案が決まってから6~7年はかかります。